公益社団法人 日本動物福祉協会
Vol.92
令和5年2月27日発行

Japan Animal Welfare Society

Jaws REPORT

長野支部 多頭飼育崩壊対応

いぬねこ譲渡会inレインボーホール
蔵王キツネ村 経過報告
RSPCAセミナー報告
岡本和真ハピアニプロジェクト
作文コンテスト
ジュニアコーナー

本書の無断転載、複製、複写（コピー）、翻訳を禁じます。

表紙モデル：ぼたんさん（里親さん募集中！）

公益社団法人 日本動物福祉協会
〒141-0022 東京都品川区東五反田 2-6-5 フロインデ 2 階
TEL：03-6455-7733　FAX：03-6455-7730

目次

- いぬねこ譲渡会inレインボーホール 03
- 長野支部 多頭飼育崩壊対応 04-05
- 蔵王キツネ村経過報告 06
- RSPCAセミナー報告 07
- 栃木支部 宇都宮市猫連続不審死事件について 08
- いぬねこ不妊去勢手術推進CP中間報告 シェルターメディスンセミナー報告 09
- 岡本和真ハピアニプロジェクト 10-11
- 動物愛護の作文コンテスト 12-13
- ジュニアコーナー 14-15
- 事務局からのお知らせ&報告 16-17
- 寄付者ご芳名 18-19
- 会費継続と会費納入について 20

Jaws REPORT

ジョーズ・レポートVol.92

発行人：黒川光隆
編集人：宇野　治／町屋　奈

公益社団法人 日本動物福祉協会

〒141-0022
東京都品川区東五反田2-6-5 フロインデ2階
TEL：03-6455-7733
FAX：03-6455-7730
URL：https://www.jaws.or.jp

令和5年2月27日発行

いぬねこ譲渡会 in レインボーホール

2023年1月21日（土）に渋谷区松濤にあるヤマザキ動物専門学校内レインボーホールで栃木支部･本部協同開催の犬猫譲渡会を行いました。2022年1月に竣工した最新設備が整った広々とした施設です。今回は主に栃木支部が保護した動物たちに参加してもらいました。中には高齢動物あるいは四肢欠損などの疾患があり、譲渡成立に中々つながりにくい動物もいましたが、新しい飼い主とご縁がつながるよう健康管理に十分に配慮し、休憩を挟みながら会は実施されました。自己アピールが上手な子はいいのですが、初対面の人へ上手くアピールができない子もいたので、保護しているスタッフが来場者へその子の良い所や持ち味などを一生懸命に説明していました。

当日は天気にも恵まれ、36名の方にご来場いただきました。来場者の中には読売巨人軍の岡本和真選手の姿もあり、JAWSの活動見学をしていただきました。動物たちがどういった経緯で保護されたのか等を積極的に質問し、興味深くスタッフの話を聞いていました。今回、宇都宮大学の猫ボランティアサークルの学生さんたちも譲渡活動のスタッフとして、参加してもらいました。日頃から栃木支部の動物たちのお世話をしてくれている面々が揃っていたので、動物たちも安心して過ごしているように見えました。

多くの方に支えられて、譲渡会は無事終了することができました。ご協力いただきました各方面の皆様には感謝申し上げます。

報知新聞社写真部様提供

▲現場の猫たち

〈長野支部〉
佐久市猫の多頭飼育崩壊

飼い主が住んでいるアパートの管理者から、「入居者が多頭数猫を飼っている」という旨の相談が佐久保健所にありました。飼い主の部屋で水漏れが発生し、管理者が部屋に立ち入ると、部屋の中に大量のゴミと多頭数の猫が発見されたとのことです。

後日、佐久保健所と佐久市役所の職員が現場に立ち入りしたところ、猫30頭ほどが確認され、行政職員から長野支部ボランティアに連絡がありました。まず始めに、緊急性の高い5匹の子猫と妊娠中の猫を保護しました。飼い主は猫の不妊去勢手術の必要性を認識しておりましたが、金銭的に困難であったためここまで繁殖させてしまったとのことでした。飼い主は猫を手放すことを頑なに拒否しており、現状の法律では飼い主の許可なく保護をすることができないため、先ずはこれ以上数が増えないように、日を改めて一斉捕獲をし不妊去勢手術をすることになりました。

▶清掃前の部屋の中

アパートの広さはおよそ6畳で、玄関のドアが閉まらないほどゴミが堆積していました。ゴミのほとんどは、キャットフードやカップ麺のゴミ、お酒の缶などで、床一面が覆われていました。水道は止まっており、風呂やトイレも使用できる状態ではありませんでした。ゴミを片付けていくと下の方から猫のトイレが2～3個発見され、当初は猫トイレを使っていたものと思われましたが、現状では、タンスや棚、布団、お風呂、床などさまざまなところに糞尿が堆積しておりました。

猫達は、ゴミや家具の隙間に隠れてしまうため捕獲作業は困難を極めました。捕獲器を安定

◀捕獲作業中の様子

▲２日間にも及んだ部屋の清掃と猫の捕獲

▲清掃後の部屋

▲ごみの量はトラック４台分

◀隣の空き部屋で不妊去勢手術を実施

して置ける場所もなく、捕獲できない子はバスタオルなどを駆使して捕獲をしました。６畳という狭い空間でパニックになった猫達が逃げ回り、非常に危険な状況でした。捕獲した猫達は隣の空き部屋に運び、出張していただいた獣医師に不妊去勢手術や必要な治療を施していただきました。猫たちは初日に32頭全ての手術をすることができました。

手術を終えた猫達をまた同じ状態の部屋に返すことはできないため、部屋の掃除を行いました。ゴミ処理の専門業者にも相談をしましたが、猫の糞尿でゴミが汚染されていることから断わられてしまい、ボランティアで掃除をせざるを得ない状況となりました。想像以上の汚い状況に、あらかじめ用意していた掃除用具だけでは足りず、何度も掃除用具やゴミ袋の買い出しに出るほど大変な現場となりました。ボランティアの中には蕁麻疹が出たり、唾液腺が腫れるなど体調不良を起こす方もおりました。作業は夜遅くまで行われ、やっと床が見えるまで片付けることができました。

翌日の作業は、主に前日にまとめたゴミを処理場に運ぶことから始まりました。ゴミ処理場でも一筋縄ではいかず、かなり時間がかかりましたが合わせて軽トラック４台分のゴミを処分することができました。飼い主は所有権放棄を拒否していたため、部屋の清掃を行い全ての糞尿を取り除いた状態で、手術が終わった猫達を

◀捕獲され別部屋に移動

再び部屋に戻しました。

猫たちにはご飯とお水を小皿で15皿ずつに分けて置き、トイレは大きな衣装ケースで代用し5箇所設置しました。トイレ砂を入れるゴミ袋も設置し、適切なトイレ掃除を飼い主に指導しました。今後も綺麗な状態が維持できるように、定期的に飼い主に対して連絡や訪問などを行うことが必要です。また、掃除が苦手だったり、他人に助けを求められないことなどについては、行政の福祉関係や社会福祉協議会などと連携することが今後の課題のように思います。

◀現場の猫たち

宮城蔵王キツネ村 経過報告

宮城蔵王キツネ村について

前号で視察報告をいたしました蔵王キツネ村の経過報告です。宮城県白石市にある蔵王キツネ村は、国内外から多くの相談が以前から寄せられていました。そこで当協会ではその事実確認のため、夏の時期である6月（前回91号で報告）と秋の10月、そして、冬の今年1月に視察を行いました。今回、10月と1月の再視察の様子を報告致します。秋には、キツネたちはすっかり冬毛になり、1月のキツネ村には雪が積もっていました。冬の気温は昼間で5℃前後、夜になると氷点下となりますが、夏の暑さよりはキツネにとって比較的過ごしやすい環境となっています。10月と1月の視察では、檻の増加や個体の移動、飲み水が凍らないような対策など一部改善も認められ、6月の夏の時期ほどひどい状態ではありませんでした。しかし、キツネ同士の喧嘩や怪我、過密飼育などの問題点はまだ多く確認されています。

キツネ同士の喧嘩

敷地内ではキツネ同士の激しい喧嘩や、喧嘩による怪我が相変わらず多発しています。実際に3回の各訪問時で喧嘩や怪我をした個体を確認しています。最も激しい喧嘩が起きるのは、エサやり体験ができる場所付近で、どのシーズンでもエサの奪い合いによって激しい喧嘩が発生していました。そして喧嘩が原因と思われる怪我を負っているキツネも多数おり、怪我のほとんどは顔面や頭部、耳介に集中していて、雪に付着した血痕も確認できました。

繁殖後継群の飼養環境

広大な放し飼いエリアの脇には、「繁殖後継選別群」と書かれた20～30頭の群れが同じ檻で飼育されています。頭数に対して敷地面積が狭く、隠れ場所も無いこともあり激しい喧嘩が多発しています。今回の視察でも今までと同様に喧嘩が多く観察されました。檻周辺の糞尿の匂いや、檻に付着・堆積している被毛も多く不衛生な環境です。また、檻の床面はほとんど金網なので、四肢や肉球への負担も危惧されます。

※青色下線部の「餌」の記述に関しまして、キツネ村より「餌」ではなく「おやつ」であることや、給餌に関する記述等に対しての反論があり改めて回答中です。

ふれあいイベントに出る動物たちの檻

キツネ村では1日に2回キツネを抱っこできるイベントが行われており、それに使用されるキツネはテラスの狭い檻で飼養管理がされています。檻のサイズはバラバラですが、幅が体長の1.5倍ほどしかない檻も見受けられます。また冬場は各檻に水入れがありませんでした。

改善が見られた点

以前冬に訪問をした方から「飲み水が凍っていた」という声が寄せられましたが、今回の視察時には飲み水にヒーターが設置されていたため、凍っていて飲めないということはありませんでした。しかし、檻によっては水皿の設置が無かったり、以前と変わらずタイミングによっては、水飲み場でのキツネ同士の接触により喧嘩が発生することもありました。

まとめ

キツネ村の敷地内では、檻飼育や放し飼いなど様々な飼養方法がとられており、十分な広さでリラックスできる環境がある一方で、ある場所では過密であったり、狭い檻で飼われていたりと飼養環境の差が大きく目立ちます。また、過密であることやエサやりのイベントがキツネ同士の喧嘩を誘発しており、6月の夏毛の時期よりは目立ちませんが、怪我を負っている個体が多く見受けられます。各3回の視察でも環境や喧嘩の頻度に変わりはない状況でした。

施設側の改善の努力も認められますが、虐待とまではいかずとも不適切な飼養管理であることは事実です。そのため、当協会では施設への指導等の権限をもつ管轄自治体への報告を検討するとともに、引き続き蔵王キツネ村の調査を継続して行う予定としております。

▲講義の様子

RSPCA研修会報告
ー3年ぶりの実開催ー

▲ RSPCA 国際部長のポール・リトルフェアー氏

RSPCA（英国王立動物虐待防止協会）は、英国で約200年の長い歴史を持つ世界最古の動物福祉団体です。様々な保護施設や医療施設を運営し、専門的知識を備えたインスペクター（動物査察官）による動物虐待の告発の他、負傷した野生動物の救護など市民からの通報・相談に対応をしています。その長い歴史と専門性から、他国への動物福祉向上のための啓発活動や、技術的助言等の国際的な活動も行っております。当協会とも45年近く交流があり、新型コロナ感染拡大前まで毎年RSPCA研修会を実開催しておりました。本研修会では、行政職員や保護団体の方、獣医療関係者、学生など様々な職業の方にご参加いただいており、動物福祉の基本から動物虐待の実例、査察スキルや英国のケーススタディなど、様々な内容を学べるプログラムとなっております。

ここ数年は新型コロナウイルス流行のため、RSPCA職員の来日が叶わず、研修会の実開催は中断しておりました。しかし、2022年に渡航制限が緩和されたため3年ぶりに実会場で開催することができました。講師はRSPCA国際部長のポール・リトルフェアー氏を招聘し、研修会は2022年11月14日～15日の2日間、実会場とオンラインのハイブリッド開催をし、計約100名の方にご参加いただきました。

会場では、3つのグループに分かれてのグループワークも行われ、各グループに与えられた各動物種（コツメカワウソ、ハムスター、コモンマーモセット）に対して、その種の習性・生態を調べ、習性・生態に沿った適正飼養管理基準を作成していただきました。各グループともに素晴らしいポスター作成及びプレゼンテーションで、最後までたくさんの質問が飛び交うほど活気のある充実した研修会となりました。

今後も毎年RSPCA研修会を開催していきたいと考えております。

▲グループワーク発表の様子

栃木支部報告

宇都宮市 猫連続不審死事件について

治療の様子

昨年11月下旬に支部会員から、外に猫がたくさんいる家があると相談を受けました。この家の方は、高齢者で、末期がんの旦那さんを抱え、車もなく、経済的にも困窮しているとのこと、そして、集まってきた猫が可哀想でエサを与えているとのことでした。市保健所の職員から、近隣からの苦情があった話を聞きました。ごはんをあげている高齢者本人とも話をし、近隣からの苦情が出ている件も伝え、このままにはできないので、これ以上猫の数を増やさないように、みんなで問題を解決する努力をしましょうと合意しました。現場の確認と繁殖制限のためにも獣医師の先生への依頼を進めているところに、高齢者宅敷地で3匹の猫の死体が発見されました。高齢者の方に事情を聞くと、これまでも猫が複数死んでおり、自分が疑われないように知り合いに頼んで、死体を回収し産廃業者に渡していたとのこと。さらに死体3匹のうち1匹は、発見時はまだ存命しており、狂乱状態で苦しんで亡くなったとのことでした。

そのように連続で死ぬのは異常であり、目立った外傷もないことから、警察に連絡をしました。しかし、警察は現場に足を運ぶこともなく、通報のみ受け付けますとのことで終わってしまいました。やむを得ず、当支部で死体を引き取り、本部と保健所と相談し、死因究明のために保健所経由で専門機関へ送ることにしました。

死因究明結果を待ちながら、できることを進めようと繁殖制限手術の手配を進めていく中で、数日後さらに死体が発見され、近隣の住民が警察へ通報しました。しかし、本格的な捜査は行なわれず、ここでも警察は現場に来て猫の写真を撮影し事情聴取しただけでした。通報した自治会の方は、これだけ猫が連続で死んでいるので不安であること、この地域におかしな人がいるということが非常に怖いなどと訴えていました。そのため、その日の内に所有権放棄された猫の保護をしましたが、その時に具合の悪い子猫がいたため獣医師の診察を受けたところ、酷い酸性尿と重度の腎不全そして低体温症が認められ、いつ死んでもおかしくない厳しい容体だと説明を受けました。そこで、会員が毎日点滴に通い、手厚いケアをしてくれた結果、やっと容体が落ち着き安心できる状態になりました。

高齢者宅敷地の様子

保護直後

子猫の症状から、中毒の可能性が高く、保護した猫すべての検査を実施しました。その後、本事件は、広く報道され、その結果、警察の対応が変わりました。

警察が動き始めてからも、更に猫の死体数体が発見されたり、去勢して耳カットした猫の具合が悪いとのことで保護したりしました。この時の猫の死体は警察が回収し、警察でも調べてくださることになりました。警察が対応し始めても続く不審死に、愉快犯や猟奇的な犯罪の可能性もあり、周辺住民は不安を隠せない様子でした。

迷惑をかける動物は許せないなど、嫌なものだからといって短絡的に殺す、排除する世の中は、怖い世の中ではないでしょうか。地域みんなで知恵を出し合って、解決方法を試行錯誤して見つける世の中であってほしいと思って活動しています。飼い主がいない猫が減ってほしいのは、好きな人も嫌いな人も同じです。そして、捨てる人、不必要な繁殖を制限しない人がいる限り、また猫は増えてしまい問題の解決にはなりません。また愉快犯のような犯罪も含め、不審者や猫の飼育についてのマナーなど地域ぐるみで監視することが重要であると考えます。

そして今回のことで、しっかりした獣医療ケアをしてあげられたことについて、改めて寄付者の皆様や、的確な診断ができるように死体の取扱い等についてご助言をくださいました日本法獣医学会の先生方に感謝いたします。もし、我々が手を差し伸べることに躊躇していたら、さらに犠牲が増え、人間にも害が及んだ可能性があります。活動を支えていただいている皆様には、心より感謝申し上げます。

ケア後

第29回いぬねこ不妊去勢手術推進キャンペーン≪中間報告≫

本キャンペーンは、捨てられる犬猫の増加や野良猫による環境被害などの問題を解決･改善するために、毎年対象の都道府県を変えて開催しております。本年も各都道府県の殺処分数や不妊去勢手術の助成金の少ない地域などを考慮して各地方獣医師会と相談し、前回に引き続き「長崎県」、「福島県」の2県で実施いたしました。この2県は収容数、殺処分数ともに多く、毎回枠を大きく上回る応募をいただくなど、市民の関心が高いことから､連続での対象となっております。本キャンペーンは各県獣医師会や自治体､メディア各社のご協力のもと、10月31日に受付を終了いたしました。

応募頭数（頭）

地域▼	メス			オス		
	猫	犬	計	猫	犬	計
福島県	924	101	1025	625	142	767
長崎県	485	64	549	292	55	347
総計　2688 頭						

当選頭数（頭）

地域▼	メス			オス		
	猫	犬	計	猫	犬	計
福島県	868	21	889	568	25	593
長崎県	459	62	521	273	54	327
総計　2330 頭						

シェルター･メディスン･セミナーを開催しました

今年もマースジャパンリミテッド様とベーリンガーインゲルハイムアニマルヘルスジャパン様のご後援をいただき、第1回、第2回のシェルター･メディスン･セミナーを、会場とオンラインのハイブリッドで開催をいたしました。どちらの回も約200名のご参加をいただき、再配信を望む声が多く寄せられるほど大盛況となりました。当日都合が悪くご参加できなかった方や復習のために無料再配信を行い、各講座約100以上の視聴回数を記録しております。

セミナーでは、シェルターメディスンの基礎からシェルターでの動物の扱い方、しつけや問題行動を、また実際に現場で動いている行政職員の方からは現状や対策など、様々な専門分野の先生方にご講演をいただきました。休憩時間や講演終了時間になっても受講者からの質問も絶えず、多くの方に興味･関心を持っていただくことが出来ました。

2023年度も第3回、第4回のシェルター･メディスン･セミナーの実開催を予定しております。

第１回　2022年8月7日　開催　　第２回　2022年12月10日　開催
第３回　2023年　夏ごろ開催予定　　第４回　2023年　冬ごろ開催予定

©読売巨人軍

Kazuma Okamoto HAPPY ANIMAL Project GIANTS×Jaws

岡本和真ハッピーアニマルプロジェクト2022

ジャイアンツ・ファンフェスタ2022 寄付金贈呈式

2022年11月23日（水・祝日）に「ジャイアンツ・ファンフェスタ2022 supported by DAZN」が行われました。コロナ禍の影響が続いていましたが、今回は3年ぶりに東京ドームで開催されました。球場ではグラウンドの舞台にいる選手を取り巻くようにドーム全体をファンの皆さんが埋め尽くし、昨年よりさらにパワーアップしたイベントが目白押しで行われていました。普段の緊張感のある選手たちとは一味違った一面が見られました。

その中で、球団や選手が取り組んだ支援活動の寄付金贈呈が行われ、グラウンド上では、寄付金額が書かれたプレートが球団・選手より各団体代表へ手渡されました。今シーズンの活躍により、岡本和真選手から82万円のご寄付をいただきました。また、会場では来シーズンの新キャプテンに岡本選手が就任することが原監督から発表され、来シーズンも、岡本和真選手が率いる新しいチームの活躍に目が離せません。私たちも岡本選手の活躍に負けないように、一頭でも多くの動物たちを救えるよう活動をしていきたいと思います。皆さんも是非、応援よろしくお願いいたします。

©読売巨人軍

©読売巨人軍

小学生の部：須藤末彩さんコメント「盲導犬と触れ合って優しい気持ちになりました。ありがとうございます。」

動物愛護の作文コンテストで岡本和真ハピアニ特別賞を創設

11月20日（土）に東京プリンスホテル内で「動物愛護の作文コンテスト表彰式」が行われました。コロナ禍の影響により、2019年に開催されて以来3年ぶりの開催となりました。本コンテストでは、新しい取り組みとして岡本和真選手並びに読売巨人軍様にご支援をいただき、子供たちが動物を大切に思う気持ちに応えられればと「岡本和真ハピアニ賞」という特別賞を創設することができました。茶話会では、ご本人が出演された動画の中で「僕もとても刺激になる作品ばかりでした」と祝辞コメントをいただき、皆さん興味深く観られていました。

副賞として、受賞者お二人には、岡本選手の熱い気持ちが込められたサイン入りのジャビットくん人形が贈呈されました。

次回も新しい題材をみつけて入選されることを願っています。

また選考に惜しくも漏れてしまった作品はどれも優劣がつけがたく読み応えのある作品ばかりでした。最終選考に残った作品と比べても、まったく劣るものではなく僅差でしたので、是非ともまた新しい作品に挑戦してほしいと思います。

中学生の部：遠藤遥薫さんのコメント「家族と一緒にみるテレビ・地域の皆さんの『はんざき』への熱い思い・学校内に帰国子女学級があることや大切なハーフの友人がいることが、点と点が線で結び付いて、今回の作品の発想につながりました。ありがとうございます。」

～全ての命を大切にする心を育む～

第63回（令和4年）動物愛護の作文コンテスト

今回の作文コンテストは、新型コロナウィルス感染リスクを最小限にするため、昨年と同様に規模を小さくして実施しました。全国から約1250篇余りの応募があり、厳正な審査を経て環境大臣賞を含め、小中学生それぞれ10名ずつ、計20名の皆さんが受賞されました。

これからの日本をやがて担うことになる小中学生が夏休みを利用して、ペットから産業動物、SDGsまで多岐に亘る分野で、動物と関わった経験や関心を持ったことを契機に、動物の福祉や共生の観点から人間は何をすべきかを深く考え、果敢に提言をする作品が多数あり、出席した方々にとって心強いメッセージになりました。

表彰式は11月20日（日）に東京プリンスホテル／サンフラワーホールにて開催されました。表彰式には名誉総裁常陸宮妃華子殿下の御臨席を賜るとともに、人数制限はあったものの、受賞者及びそのご家族等同伴者、環境省をはじめとするご来賓、審査員の方々約70名にご出席いただき、厳粛な中にも温かな雰囲気に包まれて執り行われました。受賞者は、賞状とともに、妃殿下から御下賜品を賜り、ご同伴された皆様にとっても忘れがたい貴重な思い出となったものと思います。

環境大臣賞　小学生の部

豚が教えてくれたこと

函嶺白百合学園小学校　四年　園田（そのだ）　絢奈（あやな）

二年前のある日、両親が突然子豚を飼うと言いだした。

「えっ！豚？」

私は、思わず大きな声がでてしまった。そもそも豚って飼えるのか。それとも食べるために飼うのか。そんな考えが頭をよぎる。

両親の話しを聞いていると、どうやらペットとして飼うようだ。

私の豚の印象といえば、頭が悪く、体は太っていて、臭さそうといったマイナスイメージしか持てなかった。

そんなイメージを持ったまま我が家に子豚がやってきた。

子豚を見た瞬間、そのかわいさに私の想像の豚はどこかに行ってしまった。目がくりくりしていて、長いまつ毛、メロン二つ分の小さな体を私がすわっていると近づいてきて膝の上にちょこんと乗って来るのだ。たちまち私は豚に心を奪われた。

それから、豚との日々の生活で色々な発見があった。まず、豚は頭が良くて、自分の名前を覚えたり、おすわりやお手など犬と同じことが出来る。また、とてもきれい好きで、トイレと寝床をきちんと分けている。その中でもおどろいたのは、鼻の周りからなんとメープルのような甘い香りがただよってくるのだ。寝ている姿もとてもかわいい。

でも、かわいいだけじゃない。困ったことも、たくさんある。たとえば、豚の鼻は力が強く嗅覚が優れている。そのため冷蔵庫から野菜をひっぱり出し全部食べてしまうのだ。いたずら対策は大変で今でも続いている。

我が家では、豚を飼っているが、豚肉料理を食べないわけではない。むしろ多い方かもしれない。

私はお腹がいっぱいだと何も考えず食べ物を残していた。だが、しだいに食べている物の命について考えるようになった。

私たちはあらゆる動植物の命をもらわなければ生きてはいけない。命を貰ったならば無駄にしてはいけないと感じた。食べる前と後の「いただきます」と「ごちそうさま」を心をこめて言うようになった。

それから、私はごはんを残さず食べるようにもなった。

そんなある日、テレビでこんな報道が流れた。「養豚場で豚熱が確認され、五万頭以上の豚が殺処分される」という内容だ。

私はとてもショックを受けた。なぜ、たくさんの豚が殺されなければならないのか。その理由が知りたくて豚熱について調べてみた。

豚熱とは、豚や猪のみがかかる伝染病で感染力・致死率がとても高く、怖い病気だそうだ。しかし、病気になった豚を人間が食べたとしても問題ない。では、なぜ殺処分しなければいけないのか私の疑問がますます大きくふくらんだ。

調べていくうちに分かった事は、病気になった豚をそのままにしていると、国内の豚が死んでいき、やがてほろびてしまうこと。それは豚肉を食べる食文化がなくなってしまうことになる。また、ここで殺処分しなければ元気な他の豚も食べられることなく殺処分されてしまうのだ。この豚熱は世界中に広がっていて問題になっている。そして、畜産に関わる全ての人がこの原因によって豚の命を無駄にしたくないという強い気持ちを持っている事も知った。この深刻な問題に私は何が出来るか考えた。

十才の私に今出来る事は、このようになっていることを受け止め、食べ物に対し感謝の気持ちを持ち残さず食べることだと思った。

豚との暮らしがなかったら、豚に起きている問題や動物の命について深く考えずにいたかもしれない。

入賞者名簿　小学生の部					入賞者名簿　中学生の部				
	学　校　名	学年	氏　　名	題　　名		学　校　名	学年	氏　　名	題　　名
環境大臣賞									
神奈川県	函嶺白百合学園小学校	4	園田　絢奈	豚が教えてくれたこと	宮 城 県	仙台市立仙台青陵中等教育学校	1	堀内　津麦	兄の三味線
日本動物福祉協会一等賞									
沖 縄 県	宜野湾市立はごろも小学校	6	仲間　笑花	自分らしく生きる猫	北 海 道	下川町立下川中学校	2	三浦　かんな	愛される命
一般社団法人昭和会館賞									
鹿児島県	伊佐市立羽月西小学校	3	楠八重　哉斗	大きく大きく育ってね	秋 田 県	由利本荘市立西目中学校	1	鷹嶋　寿怜	小さな命の大きな課題
岡本和真ハピアニ賞									
福 岡 県	福岡雙葉小学校	1	須藤　未彩	めがねになる犬	東 京 都	お茶の水女子大学附属中学校	1	遠藤　遥薫	はんざきの未来
JAWSUK賞									
栃 木 県	作新学院小学部	6	岡本　悠幹	外来生物との関わり	神奈川県	青山学院横浜英和中学高等学校	3	古谷　真子	大切な命
日本動物福祉協会二等賞 5名（50音順）									
兵 庫 県	小林聖心女子学院小学校	4	オーサウト　菫	なくしたい、ペットの殺処分	岡 山 県	早島町立早島中学校	2	池上　華可	災害とペット
鹿児島県	長島町立川床小学校	5	小宮路　聡汰	たくした命	福 岡 県	福津市立福間中学校	3	栗原　環	私たちの命と動物たちの命
福 島 県	桜の聖母学院小学校	5	高橋　輝	ぼくの家につばめが来たよ	東 京 都	学習院女子中等科	2	田原　未愉	大切な命を守りたい
大 分 県	九重町立野上小学校	5	手島　和香	ペットの幸せとは一体何？	東 京 都	お茶の水女子大学附属中学校	3	中尾　光稀	今から二〇年前
福 岡 県	福津市立福間小学校	6	廣渡　木蓮	わたしたちの未来	神奈川県	慶應義塾普通部	3	福井　直治	愛すべきエゴイストたち

環境大臣賞 ―― 中学生の部

兄の三味線

仙台市立仙台青陵中等教育学校　一年　堀内（ほりうち）　津麦（つむぎ）

学校から帰ると、ビーンビンと弦をはじく音が聞こえてくる。兄が、祖母からもらった三味線を練習しているのだ。

三味線の皮が破れてしまい、祖母はそのまま弾くのをやめてしまった。なんでもやってみたいという兄に「皮を張り替えるなら」と祖母はその三味線を兄に譲ってくれた。祖母に紹介してもらったお店の職人さんは息子さんに代替わりしていた。そこで聞いた話しに私は驚いた。驚いたというよりショックだった。三味線に猫の皮を使うという話は知っていたけれど、猫の皮はとても貴重で高額なため、練習用には犬を使いなさいと言われたのだ。もともと張ってあった皮も犬の皮だったとその時初めて知った。我が家には保健所から来た白髪だらけのビーグル犬がいる。母はすぐに「お願いします」と三味線を預けられずにいた。人工皮革はないのかと聞いたけれど、そこでは扱っていなく、人工皮革は固くて手首を痛めると言われたのだ。母も私も何も言い出せずにいると、職人さんは

「壊れたからと使わないでおいておけばただのガラクタです。直して楽器になるんですよ。」

祖母がなかなか手放せずにいたガラクタを私たちは犬の皮で直してもらうことにした。綺麗になった三味線を受け取ったとき、うれしさと何とも言えない悲しさが入り交ざり胸が押しつぶされそうになった。

保管の状態が良くないと三味線の皮はすぐに破れてしまう。乾燥しすぎも良くないし、多湿も良くない。こんな繊細な楽器の皮がどこから仕入れているのか無性に気になった私は、猫皮（よつかわ）や犬皮（けんぴ）を入手している方法を調べて見た。分かったことは、使われている皮のほとんどは、海外からの輸入品だということだった。動物愛護の声が高まっている中、犬や猫の皮の確保が難しくなり、国産の皮は手に入らない。今でも、十分貴重なこの三味線の皮はいずれ入手が困難になり供給が無くなるだろう。代わりにカンガルーの皮を使っていくとあったが、犬や猫はだめでカンガルーなら良いのか。三味線の皮が全て人工皮革に代わる未来がちらついて見えた。

棹は花梨や紫檀など固い木が使われているがこれも輸入に頼っている。バチはもともとは象牙やべっ甲が使われていたが、言わずもがな、代替品が好まれている。伝統楽器は消えゆくべきなのだろうか。

近所の公園ではサクラ耳のネコや同じ顔ぶれの野良ネコ達がよく昼寝をしている。家に帰れば幸せそうな顔で愛犬がソファで大いびきをかいて寝ている。犬や猫が皮に使われることは好ましく思えなかった。しかし飼っていた犬や猫が亡くなったとき、

「楽器として生きてほしい。」

と、飼い主自らもって来る人もいるという話を聞き、いろんな形の愛があることを知った。

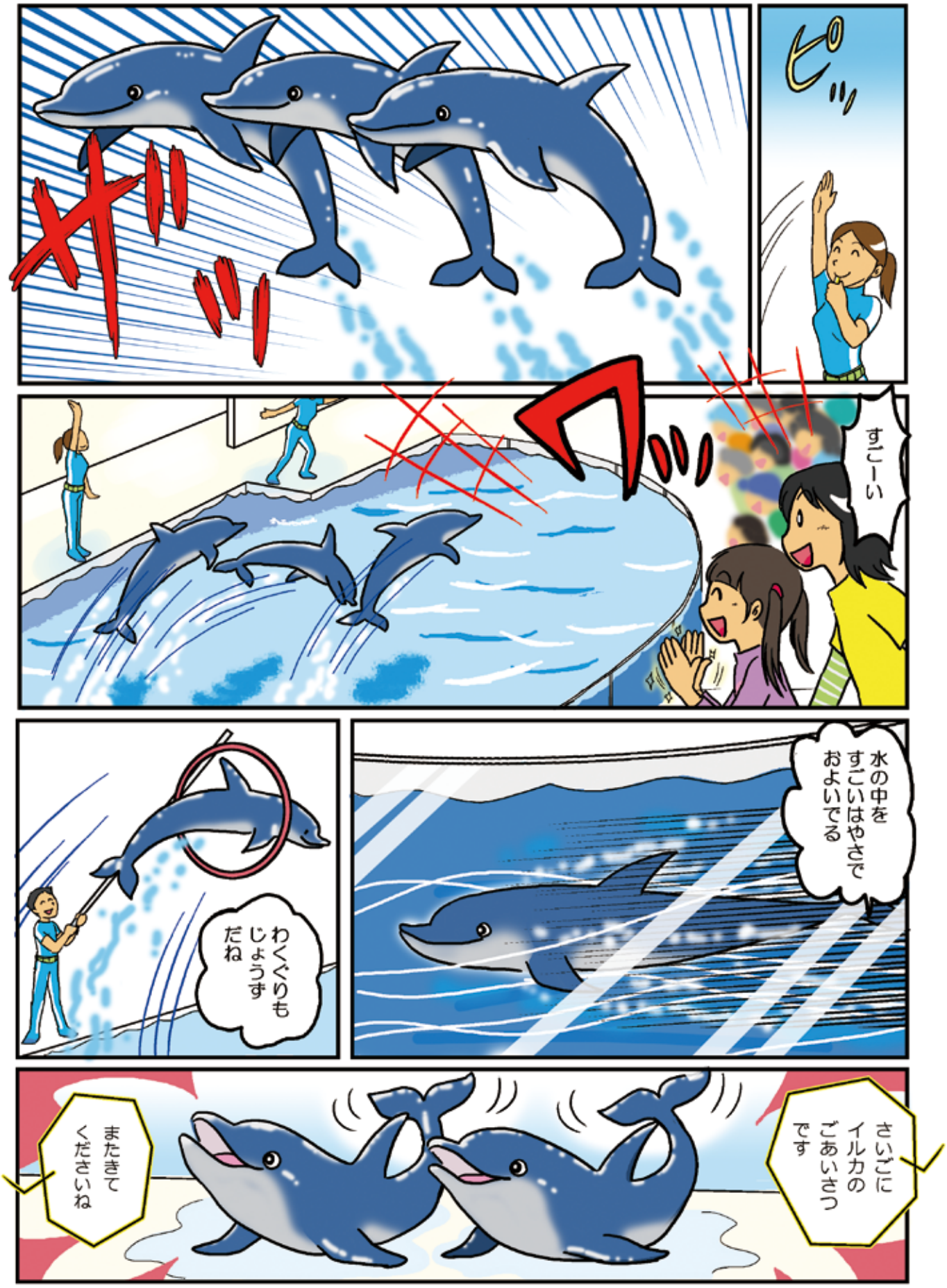
動画を見ては見よう見まねで三味線を弾いていた兄の、不規則でつまづくような三味線の音が、ほんの少し、心地よく聞こえた。それは今回いろいろ調べ、知ったからだろうか。見ると弾きたくなるという受験を控えた兄に変わり、私がしばらくの間三味線を預かることになった。ケースからそっと三味線を出して皮を撫でてみた。たくさん愛された犬であってほしいと、心の底からそう願った。

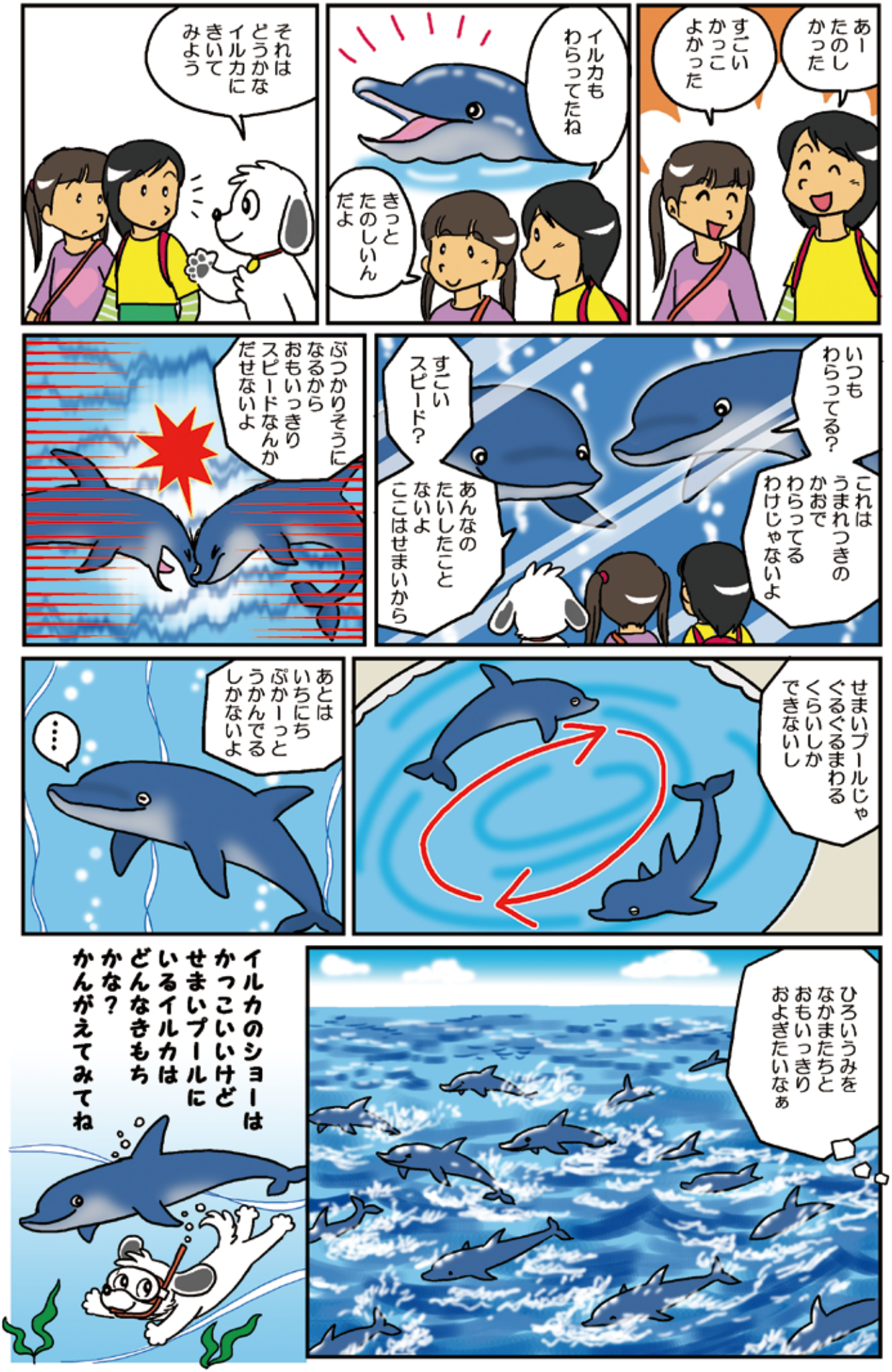
ジョーズ ジュニアコーナー

Jawsレポート92

原案・山崎恵子
まんが・みさわ桂介

ひろいうみ と せまいプール



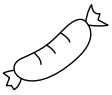

あーたのしかった
すごいかっこよかった
イルカもわらってたね
きっとたのしいんだよ
それはどうかなイルカにきいてみよう
いつもわらってる？
これはうまれつきのかおでわらってるわけじゃないよ
すごいスピード？
あんなのたいしたことないよここはせまいから
ぶつかりそうになるからおもいっきりスピードなんかだせないよ
せまいプールじゃぐるぐるまわるくらいしかできないし
あとはいちにちぷかーっとうかんでるしかないよ
……
ひろいうみをなかまたちとおもいっきりおよぎたいなぁ
イルカのショーはかっこいいけどせまいプールにいるイルカはどんなきもちかな？かんがえてみてね

事務局からのお知らせ＆報告

2022年度動物愛護週間中央行事のご報告「子どもも大人も一緒に考えよう、私たちと動物」

今回の中央行事は、屋内行事が９月24日（土）に台東区生涯学習センターミレニアムホールにおいて、オンライン配信により表彰・オンラインシンポジウムとして実施されました。第一部は、愛護週間にちなんだポスター、標語、写真などの受賞者と作品紹介が行われました。第二部は、生命尊重教育や動物介在教育について、各分野のプレゼンターから講演がなされた後、今回のテーマに沿ってパネルディスカッションが展開されました。一方、屋外行事は10月１日に上野恩賜公園 不忍池野外ステージにおいて、イベントが行われました。

2024年版JAWSオリジナル動物カレンダー申込受付開始



様々な動物たちが掲載されて、かわいいと好評のカレンダーの申込受付を開始いたしました！日付け部分がメモ欄で日々の予定を書き込める仕様となり、便利になりました。ペット写真の掲載枚数が先着168枚、お写真掲載ご希望の方はお早めに申し込みください！
１部1,500円（お写真掲載希望の場合は２部以上のご購入となります）＋送料550円

定例慈善ビンゴ会取止め

2023年３月に予定されていた慈善ビンゴ会は、新型コロナウィルス感染収束が見通せないことから取止めとなりました。

お申込み･お問い合わせは　日本動物福祉協会／事務局まで　03-6455-7733

JAWSグッズのご紹介

定番のＴシャツ、ポロシャツに加え、新しいグッズとしてデニムロープトートが仲間入りしました。また、ポロシャツは刺繍糸やロゴの大きさを少し変え、マイナーチェンジを行い、定番のポロシャツとは少しテイストを変えたデザインが登場。こちらは白、黒、紺の３色展開です。
その他、可愛らしい動物のグリーティングカード、ロール付箋などもございます。各種行事、バザーで販売するほか、ホームページ等でもご購入いただけますので、是非ともご覧下さい。ご家族や大切な人へのプレゼントにも好適です。

▲ デニムロープトート 1,500円（税込み）

▲ ポロシャツ各 3,000円（税込み）

【理事会報告】

2022年7月度
- 多頭飼育崩壊事案救護支援の件
- 当協会の名義使用承認の件　他

2022年9月度
- 作文コンテスト要領
- 表彰式開催承認の件　他
- 当協会の名義使用承認の件　他

2022年10月度
- 中間決算報告
- 法人会員入会承認の件　他

2022年11月度
- 作文コンテスト入賞者承認の件　他

2022年12月度
- 支部動物事業運営基準統一化審議の件
- 当協会の名義使用承認の件　他

長い間毎月当協会にご寄付を頂いております福岡在住の樋渡佐登子様の訃報が届き、お人柄を偲び心よりご冥福をお祈り申し上げます。

故樋渡様は実験動物の惨酷さを目の当たりになさり、反対する団体を探していらした所、故麻生和子様と英国婦人達が立ち上げた当協会の事を知り、ご上京の折り何度も事務所をお尋ね下さいました。協力するにはお金が必要と苦労なさりながら蓄積をなさり、当協会に遺贈する遺言状を作って下さっていましたので、ご遺志に沿って動物福祉のために末永く大切に使わせて頂く所存でございます。その上、愛犬達との心温まる日常を書いたご著書が、この度出版の運びとなり、印税を全額当協会に寄付というご遺言がありました。絶筆にはなってしまいましたが、愛犬との深い愛情を通して、故樋渡様のお人柄がよくわかる心温まるご著書ですから、多くの方にお読み頂きたいと思います。

「私と犬との暮らし」
樋渡佐登子著　文芸社

会費等の振込が便利になりました

会費の振込方法が以下３つになりました

①郵便局・コンビニ

従来の郵便局・コンビニへ振込用紙を直接、持参して振込（振込用紙は毎年４月頃郵送）。コンビニ支払期日を経過した用紙は郵便局で使用可能です。

※会費と同時に寄付金をご支援くださる方は、郵便局にて振込用紙を下記例のように金額訂正の上、ご送金をお願い致します。

②WEB決済（クレカ決済）

2022 年４月より会費納入が郵便局やコンビニに足を運ばずに、PC・スマホ・タブレット等の web 上でクレジットカード決済ができるようになりました。ご希望の方は supportus@jaws.or.jp へタイトルに会費納入希望と記載の上、「氏名」、「登録電話番号」をお知らせください。

※会費と同時に寄付金納入をご希望の方は、「寄付金額」、「寄付金使途」「領収書の有無」と上記２点に加えてお知らせください。

③口座振替

「年１回の会費」及び「定期的な寄付」を、都度の振込手続がいらない便利な口座振替にできます。ご希望の方は事務局までお知らせください。

例

毎月寄付

相川絵理子　公益社団法人 アニマル・ドネーション　石曽根泰久　金釘早苗　下泉朋子　高橋慧　竹内靖子　西岡千秋
張替邦夫　丸山明美　津由利子　ロイヤルハウジング販売株式会社　脇田昌実　ワタベミヅキ　匿名希望

一般寄付者

あさこ動物病院　足羽敬義　天野由利子　荒井美咲　五十川俊哉　池崎幸江　池谷妙子　石井重則　石川弥恵子　石田幸司
一ノ瀬貴子　株式会社 インテルフィン　上原美智代　梅本公代　大里茂　大橋ゆかり　岡本和真　奥田世理子　小口郁乃
小田川陸美　小野賀永子　甲斐研一　加藤健一　加藤正子　鎌田玉恵　河田啓子　神田麻理　きくかわゆうか
北関東ペプシコーラ販売 株式会社　北端丈裕　北村智裕　木村薫子　木村慎一　金吉範　葛治平　久保田美代子
Clark Wisenbaker　倉島みちる　黒木敬子　後藤宗訓　小花塗装株式会社　小峰真紀子　Kondo Hisato　近藤正春
櫻井勝英　佐藤志津佳　有限会社 サンデミ　荘司真理子　白田まち子　崇敬会　菅野多恵　杉浦多代　鈴木秀雄
社会福祉法人 青少年福祉センター聖心バザー　有限会社 saintarrowone　関根輝江　関美穂　高城陽子　髙橋朋美　瀧澤恵里子
瀧澤京子　竹内正也　竹下淳也　Tashiro Nao　忠地千代美　土田謙一（みどりとくまちゃん）
THE TOKYO TOWERS ペットクラブ　株式会社 どうぶつでんき　ドッグラン＆カフェ ユアーラ　永野孝明　中村麻子　納村道一
奈良由美子　西岡照恵　公益財団法人 日本いけばな芸術協会　沼田美樹　沼波晃司　野口聡子　バッカーズ・ファンデーション
服部智子　花岡幸嗣　英哲（ご遺贈）　林聡　原直史　日笠道子　肥喜里秀明　久次恭子　樋渡佐登子（ご遺贈）
福原美津子　福士美季子　福田裕子　藤本明美　社会保険労務士法人 ぶれす　堀京子　堀越庸夫　正木桂子　松岡吉次
松下公一　松平寿美枝　水田哲郎　溝口健治　宮﨑すみ江　村上寿子　森本直子　山田昌子　山本和代　山脇雅史
株式会社 ユアサイド　ユニバーサルミュージック合同会社（Billie Eilish）　横山千恵　株式会社 読売巨人軍
ロイヤルハウジング株式会社　ロイヤルリゾート株式会社　六畳ブック　募金箱　匿名希望

動物関連用品ご寄付者

上原　小澤千恵子　嘉瀬　加藤佳代子　加藤正子　川上　高坂優子　呉揚子　志多賀　㈱スマック　高城陽子
田波なみ子　辻本志江　手塚克子　手作り首輪★Pota　中谷　成瀬有紀　花城健弘　福田孝江　福田孝枝
マースジャパンリミテッド

使用済み切手・葉書等ご寄付者

アイギスセキュリティ㈱　㈱アイエ芸　IGテック㈱　愛知県社会福祉協議会　愛知県獣医師会　あおい在宅クリニック
青木恵子　赤羽医院　浅野雄太　アサヒバイオサイクル㈱　㈲足立保健サービス　穴田恵子　荒川㈱九州営業部
アルゼンチン共和国大使館　五十棲理恵　五十嵐幸子　池川　池川香乃子　池田典聡　㈱池田理化 埼玉支店　池永公美子
石栗美穂　㈱石原不動産　伊勢度会ロータリークラブ　伊田奈津恵　伊多波蒼　伊多波綾　いたば　市村玲　井手真由美
伊藤直江　伊藤望　㈱イニシャルベイ　乾聖陽　猪崎侑圭理　伊野千絵　今金町農業協同組合　今村福　岩岡会計事務所
㈱岩崎ホームサービス　岩手県獣医師会　IN THE HOME　IMPERIAL HOTEL　インリー・グリーンエナジージャパン㈱
上田みのり　㈲上野工業　上原聖美　上原恵　上村　臼田規子　内垣潤哉　内田薫　内田産業㈱　内田有美
内田涼香　㈱ウッドベルシステム　英雄海運㈱　江口忍　㈱エコビジョン　㈱SEB Professional　SKT㈱　江頭純子
NTフィルム㈱　㈱NTTファシリティーズエンジニアリング　榎本　榎本柚花　㈲エム・オー・ディー　遠藤　遠藤愛
遠藤こてつ　大分県獣医師会　大木雅子　大迫智加子　大島建材㈱　大竹佳子　大塚きりよ　大塚晶子　大野洋子
大平幸恵　大町和子　大森さなえ　大山京子　大山智子　おおわだのりこ　岡部郁子　岡部忍　岡本明子　岡本絵里
岡山県私立幼稚園PTA連合会　小川ヤヨイ　おきなわスポーツイノベーション㈱　㈱沖縄庭芸　小倉智恵子　小澤美保子
尾瀬岩鞍リゾート　落合刃物工業㈱　小野寺伸子　尾山千佳　㈲かーいんてりあ高橋　㈱ガイアート神戸営業所
㈱カイタックホールディングス　河西政美　葛西美沙子　笠井美奈子　笠瀬勝代　風間幸子　鹿島道路㈱石巻出張所
柏原紙商事㈱大阪支店　加州建設㈱　加藤真琴　神奈川県立足柄上病院　金山慶憲　金釘早苗　釜石市準倫理法人会
鎌幸美　上妻司法書士事務所　GAMO㈱　香山真紀江　菊地友利子　岸川紀子　北野真弓　木寺智美　岐阜県畜産協会
木村敦子　猫の額 木村慎一　共栄工業㈱　共和食品㈱　金城麗子　㈱クボテック　熊谷琴美　熊倉立英　㈱クレイン工芸社
黒沢糸子　黒田早苗　黒田美保子　㈱GEOS　ケリージャパン㈱　県北木材協同組合　㈱甲商　孝田荘屋　広南病院
河野幸江　コートヤード・バイ・マリオット東京ステーション　甑岳光明　小柴恵子　後藤彰子　後藤則子　小西敦子　小林夏美
小林はるき　小林祐子　㈱ライブコンサルティング　近藤千賀子　斉藤和則　齋藤啓子　斎藤直美　㈱サイモクホーム
佐尾山めぐみ　佐賀板紙㈱　坂田昌優　嵯峨真菜美　Sakiko Chamberlin　迫田久恵　佐々木美佐子　佐藤辰雄　佐藤千尋
佐藤剛　㈱サニーハウス本社工場　㈲佐原自動車ガラス　㈲サムソン千葉メンテナンス　澤田美保　三興管理㈱　サンコーテック㈱
三明総業㈲　サンワテック㈱　塩田僚子　篠原かれん　柴垣澄子　㈲渋谷組　清水工業㈱山梨工業　清水千恵美　清水ひとみ
社会福祉法人福利厚生センター　社会保険労務士法人ウィザード　秀東館若竹　壽命寺　上東聡美　白井富士江　㈱シンカ
神宮行政書士事務所　瑞晃化学㈱　菅原菜保子　杉本小百合　杉山淳子　住本順子　セキソ㈱　世古佳那　瀬戸建設㈱
千田眞澄　相馬広美　SOGO-PLANT　損保ジャパンパートナーズ㈱町田支店　㈱ダイシン　大日本土木㈱　太平洋通運㈱
平眞弓　㈱ダイレイ　高坂くりえいてぃぶアートスクール　髙島清美　高瀬塗料㈱　高橋あやの　髙橋佳子　髙橋秀明
髙橋裕子　髙橋陽子　髙原明美　髙宮尚子　瀧脇八重子　田栗惠子　㈲宅老所華の苑　竹内里香　㈱竹工業　田中照美
谷村こはる　玉木智鶴子　㈱タンガロイ九州工場　㈱ダンク　㈱中央パッケージング　塚原　辻紀子　対馬ゆり子
土室いずみ　津野友加子　DNC　㈱テーク・ワン　㈱テクニカル・ユニオン　㈱テクノコーポレーション　㈱テック　出張華代
寺田小夜子　テルウェル東日本㈱　てんしんらんまんなラッキー　（一社）東京都トラック協会練馬支部　東京レンダリング協同組合
塘永雅美　どうぶつセレモニーおおぞら　東北環境科学サービス㈱　トーアス㈱　都甲美紀　冨田珠妙　内藤裕子　内海麻弥
永井真維子　長尾美奈　中川理又子　中島紀史子　中島知春　中野寿人　中道リース㈱　司法書士法人中村合同事務所
那覇市環境部環境衛生課　二光光学㈱　西海誘紘　西澤俊子　西田裕子　日光市民活動支援センター　㈱日進堂印刷所
㈱NIPPO埼玉統括事業所　日本エスエム㈱　日本生命保険相互会社柏常務支社　野口興産㈱　野田仙/月ののののうさ

寄付者ご芳名（敬称略）

ノンユウママ　ハートサポートシステム㈲　㈱はいばら 真野方美　白銀美保子　橋詰政賢　橋本勝子　㈱パナホーム愛知
㈲塙製作所　濱口洋太郎　濱中恵里　早坂さとみ　林志津香　林土木工業㈱　はやしや　原利枝　春山栄　阪神高速
㈱東与賀建設　㈱ビクトリー　㈲ひまわり保険事務所　㈱ヒューマンスペース　兵庫県立尼崎北高等学校　平井智恵美
㈱平田塗装店　平田尚美　平田華　平野郁子　平野公子　福田簡易郵便局　福田倉明　福田美智代　藤彩香　藤井典子
藤代洋子　藤野沙詠　藤野純子　藤本実和子　㈲フジワテック　フジワラリカ　ベストリビング㈱　亀岡市立別院中学校
本宮市ボランティア連絡協議会　前川栄美子　前田真理子　㈲増田部品　増戸小学校ボランティア委員会　松尾眞喜子
松田昭博　松野三枝子　㈱マッハ50　真野　丸上サンエー設備㈱　三木緑ヶ丘郵便局　㈱ミット　JAWS南大阪支部　味波夏
峰村嘉美　宮内みゆき　宮口誠司　三宅　宮野翔子　三好恵子　武蔵野興業㈱　村田明菜　村林美保　村松智香子
㈱メイク　明治安田生命新横浜支社　㈱明和技術管理事務所　もみじ動物病院　森沢伸子　森美保　森本直子　森六アグリ㈱
八木茜　山口　山崎倫子　山下百合子　㈱大和 購買部　大和出版印刷㈱　大和千恵　山中梅吉　山中奈々　山本洋子
ドッグラン＆カフェ ユアーラ　結城匡彦　㈱ゆう　優和産業㈱金沢店　湯口夏未　吉川恵子　吉川由香　米本俊之　米山あき子
㈱ライカ　㈱Re.　㈱リョーショクペットケア　㈱ワールドトレーディング　若林万里子　和光㈲　和三郎・咲四朗　渡辺いずみ
渡邊邦章　渡辺翔子　渡辺光子

会員継続と会費納入のお願い

当協会の動物福祉活動は支援者の方々からのご寄付と会員の方々の会費で成り立っています。不妊・去勢手術援助は毎年特定の地域（県）を選定し、キャンペーンとして行っており、今や、すっかり定着し援助に対する期待も大きくなっています。動物福祉啓発の為の各種セミナーもご好評を頂いております。こうした地道な活動を継続、拡大するには安定した資金源が必要であり、その観点からもご寄付に加えて、会員の基盤を強固にしていく事が大事だと考えております。動物福祉に興味を持たれておられる方には、是非、皆様から入会をお奨めいただきたく、ご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

尚、会費納入方法に従来の郵便振替・口座自動振替に加えてWEB決済（クレカ決済）が加わりましたので17ページをご参照下さい。

会員種別

維持会員（S） 7,000円*
賛助会員（A） 3,000円
青少年会員（J） 1,000円
＊正会員２名の推薦が必要です。

ご送金先口座番号は事務局までお問い合わせください

ご寄付のお願いと関連する税優遇措置について

皆様からのご寄付は全て私どもの動物福祉活動資金として活用されています。2022 年度の収支予算においては、収入面では会費 31 百万円、寄付金 55 百万円を見込んでいますが、一方で、支出面では「いぬねこ不妊去勢手術推進キャンペーン」を含む不妊・去勢手術助成金や動物救護活動費用を始め公益事業拡充のための積極的な予算を組んでおり、資金確保が重要な課題となっています。そのため、当協会では会員数の増加とともに、もう一本の柱であるご寄付についても、幅広いご支援をお願いいたしております。

寄付金の使い道

ご寄付の際は、以下の用途をご指定頂けます。ご送金頂く際、郵便振替用紙の通信欄に基金名をご記入ください。
※ご指定が無い場合、一般寄付として受領させて頂きます。

動物救護基金
動物の保護・新しい飼い主探し等の為のご寄付

不妊・去勢手術助成基金
飼い主のいない犬・猫を減らしていく、不妊・去勢手術のためのご寄付

一般寄付金
動物福祉理念の普及や、協会の全般的な活動のためのご寄付

ご寄付のお申し込みは HP または事務局まで

税制上の優遇措置の概略

公益社団法人日本動物福祉協会へのご寄付は、税制優遇措置の対象となっています。所得税、個人住民税、相続税について、それぞれに定められている条件を満たすことで、優遇措置を受けられます。なお、優遇措置を受けるためには申告が必要です。
※住民税における寄付金控除は、各都道府県および市町村の条例で指定されている場合のみ適用されますので、お住まいの都道府県および市町村にお問い合わせください。

	◎税額控除（H23改正追加）	◎所得控除（従来型）
控除額	**（寄付金額－2,000円）× 40%** ※対象となる寄付金額の上限は、総所得金額の40%相当額 ※控除税額の上限は、所得税額の 25%相当額	**寄付金額－2,000円** ※対象となる寄付金額の上限は、総所得金額の 40%相当額
◎個人住民税		
控除額	**①都道府県が条例指定　（寄付金額－2,000円）×4%** **②市区町村が条例指定　（寄付金額－2,000円）×6%** ※重複指定であれば、（寄付金額－2,000円）× 10%	
◎相続税		
非課税措置	**遺贈または相続財産の寄付は相続財産から除外（租税特別措置法70条）** ※要件等の詳細は専門家にご確認ください	